

いきいき新聞

3月号

津山市地域づくりサポートセンター
津山市大田920
リージョンセンター内
電話27-0600

新加茂地区でもアンケート調査を実施し、地域の課題を把握！

新加茂地区住民自治協議会

は、町内会をはじめ民生委員、愛育委員、老人会、消防団等の各種団体がメンバーとなり、住みよい地域づくりを目指し平成20年から活動してきました。これまでに、交流事業をはじめさまざまな取り組みを行ってきましたが、10年が経過した今の地域の現状や住民のみなさんのお考えを伺うことで、課題を整理し仲間を増やしていけるよう住民アンケートを実施しました。

アンケート報告会

そして令和2年2月22日に、新加茂地区住民自治協議会住民アンケートの報告会が開催されました。

2019年の6〜8月に住民アンケート調査実行委員会を立ち上げ、アンケートの内容について検討し、対象者を「地域内の中学生以上の方」161名に決めました。そして8月下旬から9月下旬にアンケートの配布と回収を実施し、10月〜11月にアンケートの集計作業を行いました。アンケートの回収数は772枚（率66.5%）でした！12月にはアンケートの結果をもとに、役員会の中で分析を行いました。



8月下旬から9月下旬に行った、地域内の中学生以上の方を対象にした住民アンケートの結果を地域のみなさんに報告し、今後の地域のあり方について一緒に考えるための会です。まずはじめに住民アンケートの結果報告がありました。回答者の方の状況について質問したものです。そしてアンケート内で新加茂地区で暮らしについてお尋ねし、「何が重要」で「何に満足」しているかをお答えいただきました。

そこでアンケートで判明した「重要度が高く、満足度が低かった」5項目をテーマにして参加者のみなさんがご興味のあるテーブルへそれぞれ移動をしていただきました。

新加茂地区で【重要度が高く、満足度が低かった】5項目

- ① 田畑や山林の管理・自然環境の保全
- ② 買い物・通学・通院などの移手段
- ③ 子どもの遊びや学びの場所
- ④ 空き家や空き地の管理
- ⑤ 防災・防犯

5つのグループに分かれたあと、初参加の方も多かったため、まずはみなさんの自己紹介から始まりました。町内会名やアンケート結果を見ての感想も一人ずつ共有していただきました。そのあとは住民アンケートで出た「重要度が高く、満足度が低かった」各テーマに対して、最近感じていることや困りごと、不安、実際に聞いたことのある話などを自由に紙に書いていくワークショップを



30名を超える参加

行い、みなさんしっかりと書いていました。そして次にグループでたくさん出た課題の解決策を考えていただきました。地域で取り組むとしたらどんなことができるでしょうか。すぐにできることでも、アイデアレベルのことでも、大小関係なく何でも自由に出していただきました。最後に、みなさんから出た課題の解決策を共有して、いいね！と思ったものにシールを貼って投票していただきました。住民アンケートを実施し、アンケート結果の報告会を開催して、地域の課題を地域のみなさんと一緒に把握することができました。

アンケートの自由記述では「1ヶ月に1〜2度70歳以上の方の集まりがあればと思います」「病院、買い物、農協などにかけつける手段がほしい」「地域内の伝統行事や防災活動を活発に行うことで皆の元気が湧くと思う」「もっと若者が集まる場所施設をつくってほしい。勉強できる場所があればうれしい」「幼稚園がなくなったので整備して子どもたちが安心して遊べる場所を作ってほしい」「習い事（教室）やイベントなどの宣伝をもっとしてほしい」などの意見もありました。会の終わりに参加者から良い会だったとお声がありました。新加茂地区住民自治協議会では今回のアンケート結果を元に事業計画を検討すると共に、住民のみなさんとの話し合いの場を設けていきます。

アンケートの自由記述では「1ヶ月に1〜2度70歳以上の方の集まりがあればと思います」「病院、買い物、農協などにかけつける手段がほしい」「地域内の伝統行事や防災活動を活発に行うことで皆の元気が湧くと思う」「もっと若者が集まる場所施設をつくってほしい。勉強できる場所があればうれしい」「幼稚園がなくなったので整備して子どもたちが安心して遊べる場所を作ってほしい」「習い事（教室）やイベントなどの宣伝をもっとしてほしい」などの意見もありました。会の終わりに参加者から良い会だったとお声がありました。新加茂地区住民自治協議会では今回のアンケート結果を元に事業計画を検討すると共に、住民のみなさんとの話し合いの場を設けていきます。

発行



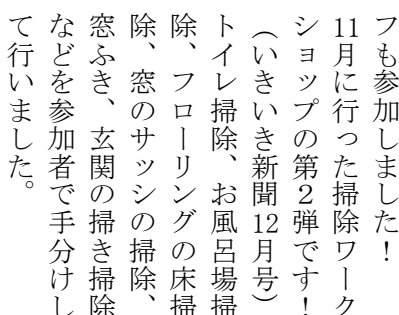
ワークショップのようす

アンケートの結果を元に事業計画を検討すると共に、住民のみなさんとの話し合いの場を設けていきます。

ホームページ QRコード



令和2年3月14日に津山市加茂町知和の特定非営利活動法人スマイルちわの便利屋事業に依頼のあったお墓掃除が行われました。知和の「いなか体験」などで知和地区に継続的に関わっている津山東高等学校の生徒4名と一緒にみんなの集落研究所のスタッフも参加しました！参加者で3チームに分かれて作業。墓石を拭いたり、まわりのブロッコリーのコケとり、草むしりや落ち葉ひろいをしました。2時間半の作業でしたが「地域の方と一緒に話しながら作業できるのが楽しい」と高校生。地域の方も「若い力があつたら作業が早い！」と話されました。明日の空き家の掃除も元気にいきましょう！



令和2年3月15日に、県の空き家事業のモデル地区の1つに選定されている津山市上加茂地区で新しい入居者の決まった空き家の掃除がありました。今回は上加茂地区住民自治協議会の空き家部会メンバーとスマイルちわのメンバーと新しい入居者の方と、前日にスマイルちわの便利屋事業のお手伝いをした津山東高等学校の生徒4名がこの日も参加しました。みんなの集落研究所のスタッフも参加しました！11月に行った掃除ワークショップの第2弾です！（いきいき新聞12月号）トイレ掃除、お風呂場掃除、フロアリングの床掃除、窓のサッシの掃除、窓ふき、玄関の掃き掃除などを参加者で手分けして行いました。



障子紙の張り替え
高校生は地域の方に教わりながら、照明カバーの障子紙の張り替えも行いました。地域の方や参加者と交流しながら約3時間の掃除をしました。掃除を終えて高校生からは「空き家を有効活用して頂けるのはとても嬉しかった」「新しい入居者の方に快く使ってもらえるように一生懸命、細かいところまでしようという気持ちが強かった」などの感想があり、高校生にとっても地域で課題解決を行う取り組みのお手伝いができた貴重な経験になりました。今後の空き家部会の活動にも注目です！



空き家部会

印刷機あります
有料用紙持ち込み

いきいき新聞
お尋ねください！